

朝の館内放送

令和4年1月11日

おはようございます、市長の中村健です。

この1か月間であった、嬉しかったことをいくつか紹介します。

1つ目は、「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2021」を受賞し、スポーツ庁から表彰されたことです。

これは、全国を先導する優良な「スポーツ・健康まちづくり」に取り組む自治体を表彰するもので、今年度創設され、愛知県では唯一の受賞となりました。

西尾市では、今年度、スポーツ都市宣言を行いました。スポーツ庁からの募集に対し、スポーツ都市宣言の趣旨をよく理解し、上手にまとめたうえで積極的に応募してくれた、担当課のファインプレーでした。

2つ目は、名鉄、蒲郡市との間で「名鉄西尾・蒲郡線に関する連携合意書」を締結できたことです。

合意書自体にも意味がありますが、電車を貸切り、車内で調印式を実施できたことや、来年度に予定している、イベント列車の運行や駅の相性の募集など、担当課の創意工夫を誇らしく思います。

3つ目は、一昨日に開催した成人式でのことです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年も消防出初式を開催できませんでしたが、消防団と協力し、新成人を祝福する写真撮影用のフレームを制作してくれたり、また、バラの組合と協力して市のシンボルフラワーであるバラをモチーフにしたフォトスポットを設置してくれるなど、官民連携しての気の利いた演出にとっても感心しました。

年明けの箱根駅伝では、青山学院大学が圧倒的な成績で優勝しましたが、原監督の過去のインタビュー等によく出てくるフレーズが、自ら走ると書く「自走」です。

自分で考え行動できる、そうしたメンバーの多い組織は、どの分野においても強いのだと思います。

そして、先に紹介したいくつかの例は、これまでであればあまり結果として出てこなかった、自走の良い兆候であると認識しています。

最後に4つ目として、先日、町内会長を務めておられる方から、相談や質問等で色々な課にお邪魔するが、どの課に行っても分かりやすく丁寧に対応してくれるので、とても感謝しているという言葉いただきました。

同じような言葉は、過去に他の町内会長からも聞いており、地道なことを一つひとつ積み重ねていくことで、行政への期待や信頼が着実に高くなっていると感じています。

令和4年も、市民の幸せ実現のため、市政発展のために頑張りましょう。

本年もよろしく申し上げます。